企業評価在り方意見交換会

経審 虚偽申請防止策示す

国土交通省

国土交通省は30日、企業評価の在り方に対する業界8団体代表者との8回目の意見交換会で、虚偽申請防止策や、X1評点（完成工事高）テーブルを経済情勢を踏まえて修正するといった、経営事項審査（経審）の当面の改正方向を示した。X1評点の改正については、7月からの実施を目指して準備を進めていく。

虚偽申請には、審査行政庁による疑義業者リスト活用の徹底や、監督処分基準の明確化、CORINS登録対象工事の拡大、「施工体制Gメン」の創設などで対応。このうちCORINSは、現在、登録対象外である2500万円未満の工事についても、技術データの省略や登録金額の軽減を図って対象化するもので、14年度以降、準備が整いしだい実施。その他の措置も適宜実施していく。

公認会計士など外部の専門家による経審申請内容の精査も虚偽申請対策として考えていたが、効果や事業者の金銭的・事務的負担などを勘案しながら、引き続き検討していくことにした。

経審の審査項目では、X1評点の評点テーブルの修正と、企業年金制度の改正に伴うW評点（社会性等）加点対象の追加を決めた。

X1評点テーブルは、建設投資の低迷で完工高が減少し、評点が当初に制度設計した平均点（700点）を下回っている現状に対応するためのもの。審査基準日が12年度内にある全建設業者の12年度の完成工事高を抽出し、13年度の建設投資減少見込みである6％分をマイナスして13年度のX1評点の平均を予測。これが700点になるように評点テーブルを加点修正する。国土交通省では、3月期決算企業への対応を目指し、7月から実施できるようシステムの修正などを働きかけている。

W評点の加点対象の追加は、基金型と規約型の企業年金、企業型の確定拠出年金が14年度に創設されるため、これらを加点対象に追加するもの。14年4月1日からの施行を目指す。

経審の審査項目の改正については、2月12日に予定している中央建設業審議会（中建審）の承認を得る。中建審ではこのほか、純粋持株会社に配置された職員・技術者などを子会社の職員の一部と見なす措置や、会社分割の際の実績の引継ぎ、共同企業体協定書の見直しも審議するため、これらの概要も意見交換会に示された。

協会取り組みに期待大

電設IT基盤でアンケート

日本電設工業協会（電設協、星野聡史会長）がまとめた13年度電設IT基盤整備に関するアンケート調査結果によると、電子署名の提供や電子入札の相談窓口の設置、インターネットを利用した情報発信などへの協会の取り組みに対する期待が大きいことが分かった。電設協では、調査結果を踏まえて、14年度から「電子電設協（仮称・NETIJECA）」の設立を進めていく方針でいる。

調査は、昨年暮れに電設協会員、賛助会員、林業関係団体、業界団体会員を対象に実施。57社の回答をまとめている。

調査結果によると、「電子署名法」の周知状況は、「知っている」が16％で、「詳しくは知らない」が55％、「知らない」が21％、「存在自体を知らなかった」が8％。また、国や自治体が電子署名を利用した「電子入札」を取り入れ始めたことについての周知状況は、「知っている」が39％、「詳しくは知らない」が55％、「存在自体を知らなかった」が1％だった。

電子入札に対する不安については、「不安はない」は16％と少なく、「インフラはできているため、扱い者の教育だけが心配」が36％、「不安であるが自社で何とかする」が19％で、「協会の指導に期待」が30％となっていた。

電子入札への参加の必要性に対しては、71％が「必要性を感じる」と答えたのは78％に上っていた。

こうした中で、電設協に対する期待は大きく、電設協による電子署名の提供や電子入札へ参加するための方法に関する相談窓口の必要性について、82％が「必要と思う」と答えた。また、そうした電設協のサービスを「利用する」と答えたのは78％に上っていた。

電子入札への参加は、「分からない」が22％とほとんどが必要性を感じていた。ただ、電子署名の取得方法については、「詳しくは知らない」が52％、「分からない」が33％で、「知っている」は15％にとどまっていた。

こうした中で、電設協に対する期待は大きく、電設協による電子署名の提供や電子入札へ参加するための方法に関する相談窓口の必要性について、82％が「必要と思う」と答えた。また、そうした電設協のサービスを「利用する」と答えたのは78％に上っていた。

電子電設協を設立した場合に提供する情報への希望については（複数回答）、「電子入札、電子納品、電子認証、電子商取引などの説明」が最も多く、次いで「電子施工標準、新施工法の紹介」、「新技術、話題技術の紹介」、「各種講習会、研修会などの案内、募集」などとなっていた。

東条設計 ISO14001取得

九州地場設計事務所で初

更なる環境配慮建築物を提案

㈱東条設計（東條正博社長）はこのほど、一昨年8月に取得したISO9001に続き、ISO14001の認証を取得した。品質システム及び環境マネジメントの認証を取得した地元設計事務所としては九州で初となる。認証はベターリビングシステム審査登録センター。

取得は2001年の年頭に東條社長が「環境に優しい建物を提案する上で、我が社でもISO14001を取得する」と新年の決意を述べたことと、従来から同社で実施している紙や電気の節約などを、3月から文書・マニュアル化し認証取得に向けスタート。

同社では、品質システムマネジメントの認証を一昨年取得していることから、今回の環境マネジメントの取得にスムーズに移行できた。当初、ISO室の3人に内部監査員2人を加え検討、そこで決まった実施項目等を各部へ送達するスタイルをとった。ISO9001の認証取得で取り組みに対する基本ができていたことから、スムーズな運用ができた。

東條社長は「従来から建築物の設計において環境にやさしい素材などを採用していたが、今回の認証取得で更にリサイクル素材の利用や環境に配慮した建築物の提案を目指したい」と述べた。

認定書を手にする東村清孝ISO室長（左から2番目）

1級電気検定申込書

あすから販売開始

県電設協会

県電設協会は、㈶建設業振興基金が実施する14年度1級電気工事施工管理技術検定試験の「申込書類及び受験の手引」を、2月1日から1部600円（消費税含む）で販売する。

問い合わせ先は、同協会事務局（鹿児島市与次郎1－3－11、☎099・257・3877）。

マンション管理士試験

きょう合格者発表

マンション管理センターはきょう31日、昨年創設したマンション管理士試験番号を掲載。また、2

うち7213人が合格、合格率は7・4％だった。

同日付けで合格証書を送付するほか、31日9時からセンターのホームページ（http://www.mank.or.jp/）に合格者の受

志布志港ポートセミナー2002

来月6日に鹿児島市で

志布志港ポートセールス推進協議会は2月6日午後4時20分から、鹿児島市の城山観光ホテルで「志布志港ポートセミナー2002」を開催する。

当日は、南九州地域の国際物流拠点を目指す志布志港の利用促進に資するため、県内の貿易・物流関係企業約100人を招き、港の現状や定期コ

きょうの天気

天気	風	降水確率
晴時々曇 昼過ぎまで所一時雨か雪	北西やや強くのち北	10％ / 0％
晴	北西やや強くのち北	0％ / 0％
晴時々曇 昼過ぎまで所一時雨	北西	10％ / 10％
晴時々曇 所一時雨	北のち北東	10％ / 10％

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
1	金		40％	12° 4°	後	50％	16° 12°
2	土		30％	14° 6°	時々	70％	16° 12°
3	日	一時	70％	14° 6°		40％	18° 13°
4	月	一時	50％	15° 6°		40％	18° 14°
5	火	一時	60％	15° 7°	一時	60％	19° 13°

《概況》今日は晴れる所もあるが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る日が多い。

行政動静

1月31日（木）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事…午前庁外、午後在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道工事事務所】
- 所長……庁外
- 田中副所長……在庁
- 喜多川副所長…在庁

【川内川工事事務所】
- 所長…午前在庁、午後庁外

【大隅工事事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾空港工事事務所】
- 所長……在庁

【志布志港湾工事事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……庁外

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。